



※学校だよりのタイトル『羽ばたく』は、甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた、舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。「ふるさとを愛し、羽ばたく子に」になって欲しいとの願いをこめてタイトルとしました。



本年もよろしくお祈いします



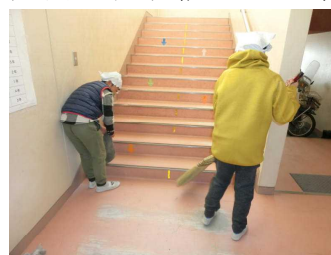
コロナ禍の終焉が見えることを期待して元旦を迎えましたが、残念ながら第8波の到来とも言われるように、まだまだ感染対策は続くようです。そんな中、令和4年度3学期、そして令和5年がスタートしました。玄関で行う健康観察チェックもこれで1年間続けたことになりました。昨年に引き続き厳しい船出となりますが、保護者や地域の皆様方におかれましては、本年も引き続き本校教育へのご理解とご協力をお願い致します。「本年もよろしくお祈い致します。」

行く年・来る年の子ども達

令和4年も「コロナ」に追われた一年でした。それでも「与えられた条件の中最善を尽くす」意識で取り組み、保護者や地域の皆様のおかげで、運動会の種目を増やしたり、公開研究会を開催したりと、本校の教育活動は、また一歩前に進むことができました。

■ていねいそうじ Day

児童会の新たな取り組みとして、「ていねいそうじ Day」を実施しました。子ども達自らが重点掃除をする場所を考え、どの子も三角巾を付けて無言清掃に取り組みました。国語の教科書に「太郎コオロギ」という教材がありましたが、この「学び舎」を巣立つ日も近い6年生にとって、教室の一つ一つの掲示物や廊下など、何か一つでも良いので心に残ってくれると良いなと思いました。



■2学期終業式

今学期も終業式をオンラインで行いました。子ども達からは、「おもちランドで一年生を楽しませることができて良かった。運動会や連合音楽会の取組を通して難しいことでも頑張って成功させることを学んだ。運動会の係活動で緊張したが、演技では無事に終えることができて良かった。」など、今年を振り返って楽しかったこと、頑張ったことを発表してくれました。また、「書き初めを頑張りたい。家族と過ごすお正月を大切にしたい。卒業までの友達と過ごす時間を大切にしたい。」など新年の抱負を発表してくれました。教室では、2学期の「あゆみ」を担当の先生からもらっていました。もらった子ども達は、どこが良かったのか、見比べ合ったり、一喜一憂していたりしました。



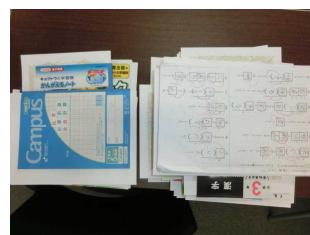
■3学期始業式

始業式では子ども達が、冬休みの思い出や3学期に頑張りたいことを発表しました。「湯村山に登ったこと、おせち料理作りに取り組んだこと、沢山の本を読んでお気に入りの主人公を探したこと」など、普段ではなかなかできないことに取り組むことができたようです。また、「算数を頑張りたい、自主学習に取り組むたい、卒業までの毎日を大切にしたい」など、しっかりとした目標を掲げた様子に逞しさを感じました。短い休みでしたが、家庭や地域に帰って、楽しい年末年始を過ごすことができたことに感謝致します。



■小林ギネス

始業式の中で、「自主学習を毎日続けた」と言ってくれた子がいましたが、子ども達が冬休みに取り組んだことの一つに自主学習があります。始業式の中で「学校が始まって、自学ノートやドリルを持ってきてくれることを楽しみにしています」と伝えましたが、この日だけで30冊が提出されました。中には、4月からコツコツと取り組んだ自学ノートもありました。Chromebookを持ち帰りますが、「学び」を書いて残すことも大切な学習です。是非ご家庭でも「自ら学ぶ」子ども達の意欲を高めていただきたいと思います。



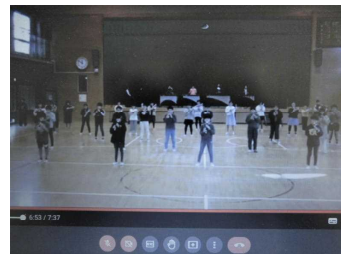
人権移動教室－6年－

6年生が「人権移動教室」に参加しました。「国境なき医師団」のビデオを見た後、講師の先生から、人が人として持つ権利を保障することの大切さを「生きる権利、幸せになりたい権利」と人権について子ども達にも分かりやすいように話してくださいました。そして、自分を大切にするなら相手も大切にする必要があり、相手の立場に立って考え、自分の考えをしっかりと伝えることが大切であることを教えていただきました。本校の目指す「思い遣る心」に通ずる想いだと感じました。子どもの権利条約やLGBT等を含めて、次代を担う子ども達に考え、大切にして欲しいことですし、私たち大人も改めて「人権」とは何かを見つめ直す必要があると思いました。



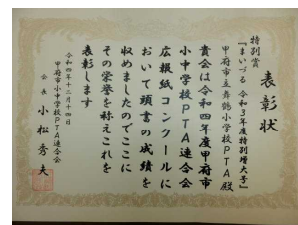
連合音楽会－4年－

4年生の連合音楽会は、コロナ禍の中、参集することが困難であり、各学校の予定に合わせて練習を始められることから、今年もビデオ交流の形式になりました。最初に舞鶴小の紹介をした後、映画「サウンド・オブ・ミュージック」に挿入された2曲を披露してくださいました。子ども達の声はととても澄んでいて、「エーデルワイス」は、綺麗な2部合唱となりました。また、合奏はJR東海にも使われた「マイ・フェイバリット・シングズ」という曲で、コロナ禍で出かけることができない中、旅の気分を味わわせてくれました。子ども達の感想の通り、諦めずに最後まで努力すること、協力することの素晴らしさをこれからの生活に生かして欲しいと思いました。



市P連広報紙コンクール特別賞

昨年度に引き続き、本校のPTA新聞「まいづる令和3年特別合併号」が今年度は特別賞を受賞しました。2年間の連続した入賞は、これまで情報活動部の皆様が、積み重ねてきた努力の成果だと思います。今年度もコロナ禍の中でしたが、積極的に取り組んでいただき、ありがとうございました。



賞状伝達

子ども達は、作文・ポスター・自由研究・新聞など、夏休みの間に様々な作品応募に取り組み、素晴らしい作品を仕上げたため、主催者側から「賞状」が送られてきました。また、6年生は陸上記録測定会で各種目に全力で取り組みました。そこで、入選した子を校内放送で紹介しました。個性を伸長する意味で、研究でも運動でも表現でも、自分の興味のあることに取り組んで、自らの可能性を伸ばして欲しいと思います。



まいづるまつりビンゴ大会

コロナ禍で「まいづるまつり」は中止となりましたが、PTAの皆様のご理解とご協力により、子ども達への「プレゼント配布」ができました。また、児童会本部役員の皆さんは、PTA本会役員さんが考えてくださった「ビンゴ」を児童会活動として実施してくださいました。教室にビンゴの用紙が配布され、クラスで考えた数字を記入し、出された数字に○を付けていくわけですが、子ども達は自分たちのカードがビンゴとなるように祈りながら数字を待っていました。リーチでなくとも「よっしゃー」などと声を出して、景気をつけている学級もありました。今回の運営は児童会役員さんが個々にChromebookを携えて、どの教室がリーチになったのかを確認するなど実況を分析して、全校に伝えることで、臨場感や緊張感が生まれていました。児童会本部を中心に学級の友達と楽しいひとときを過ごすことができました。さすが、舞鶴小の児童会と改めて感心させられる姿でした。



ようこそ舞鶴小へ「三輪先生」

岸本先生が、研修で不在となる間、けやき2組の担任を三輪恵子先生にお願いしました。先生は、子ども達の様子を聞いたり、これまでの支援の様子を確認したりするなど、休み中に何度も岸本先生との打合せを行ってくださいました。教職への熱意と子ども達への愛情が溢れる先生です。きっと、子ども達と素敵な時間を過ごして下さると思います。

